**岩井崎**

低く突き出している岩井崎は、かつては背の高いアカマツの防風林で覆われていました。しかし、これらのアカマツは、2011年3月11日の東日本大震災時にこの海岸をおそった津波によって流されてしまいました。現在、この岬は公園となっており、かつて林があった場所には緑の芝生が広がっています。この被害の記憶は、津波の力によって龍の形に曲げられた松の木の形状を模して鋳造され、「龍の松」と題された記念碑として残されています。岬の先端には、浸食を受けた巨大な黒っぽい石灰岩がゴロゴロしており、満潮時には海岸に押し寄せる波が岩にぶつかって大きなしぶきがあがります。この公園には、海に向かって立つ秀ノ山雷五郎（1808-1862）という力士のブロンズ像もあります。この地域出身の秀ノ山は、キャリアの最高潮には横綱という相撲の最高位にのぼり詰めました。